研 究 協 力 のお願い

岐阜県総合医療センターでは、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

最後に、研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当センターにおける診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究名：B 型肝炎ウイルス再活性化予防の取り組みと薬剤師介入の評価

1. 研究対象者および研究対象期間

2022 年 1 月～6 月および 2023 年 10 月～12 月に当院で対象薬が使用された方

2. 研究目的・方法

B 型肝炎ウイルス（以下、HBV）再活性化による肝炎は重症化しやすいだけでなく、肝炎の発症により原疾患の治療を困難にさせるため、発症そのものを阻止することが最も重要とされています。日本肝臓学会の B 型肝炎治療ガイドラインでは、免疫抑制・化学療法を施行する際は、肝機能異常の有無にかかわらずHBV 感染をスクリーニングすることが推奨されており、当院でも 2017 年度から注意喚起を行ってきました。

2022 年 4 月からはスクリーニング対象薬を拡大するとともに「HBV 再活性化検査確認の運用」を作成し薬剤師による検査確認体制を整備しました。今回、HBV 再活性化検査確認と実施状況について調査することで、検査確認体制を検証することを目的としています。

調査方法は電子カルテを用いて、後方視的に下記に示す内容を調査します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

・HBs 抗原、HBs 抗体、HBc 抗体の初回検査の実施状況

・HBs 抗原検査陰性かつ HBs 抗体または HBc 抗体検査陽性患者に対する定期的な HBV-DNA 定量検査の実施状況

4. 個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

5. お問い合わせ先

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター
薬剤部　小栗　良介

電話番号：058－246－1111
（内線8684）